

阿智村教育委員会 令和4年3月定例会会議録

- 会議日時 令和4年3月24日(木) 午後1時30分
- 会議場所 阿智村中央公民館会議室
- 出席者 教育長：黒柳紀春 教育長職務代理：原 勝人
委員：原 彰彦 委員：熊谷 歩 委員：熊谷 均
【事務局】
教育次長：川上 悟（全体進行） 保育園総園長：原 満
子育て支援室長：島岡佐喜子
公民館兼社会教育係長：井原祐次 学校教育係：沖村信繁
学校教育専門主事：原 康倫 学校教育専門主事：佐々木豊
英語教育専門員：両角明浩
（欠席）学校給食係長：石原哲成 学校教育専門主事：川上清宏

1 開会

2 教育長あいさつ

- 3月定例議会教育委員会一般質問について
- 令和3年度末学校関係人事異動について
- 高校入学者選抜後期試験の結果について

3 議事事項

(1) 公民館関係役員の任命及び委嘱について

- ・ 公民館兼社会教育係長説明

(原 彰人委員)

スポーツ推進委員の皆さんの得意なスポーツは何か。

(公民館兼社会教育係長説明)

個人毎に具体的に紹介（詳細は省略）

(2) その他

4 協議事項

(1) 令和4年度教育委員会関係主要施策・事業について

- ・ 係毎に係長が説明

(原 彰彦委員)

英語、算数・数学の重点教科について、子どもたちが力を付けていけるような目的は何か。

(原 学校教育専門主事)

受験科目である英語、算数・数学の学力向上のため。また、若手の教員指導のため、村の算数の研修の指導をしていただくために専科教員を置きたいと考えています。

(原 彰彦委員)

授業の中で専科制にしていくにあたり、各学校の対応や時数も難しいがどういう形で取り入れていくのか。

(教育長)

英語については専科教員が全県で80人ほどいるが都市部や大規模校に配置されている。飯田下伊那にも専科教員はいるが、まだまだ全部の学校に配置はとてできないのが現状。算数についてはこれから検討していく段階。文科省でも行く行くは小学校を教科担任制にしていく流れだが、それには莫大なお金と人の問題がある。阿智村ではできる範囲で先行して算数専科を導入する予定。

(原 彰彦委員)

完全な教科担任制にしなくても、学校運営の中で得意分野を活かしながら取り入れるという見通しを持ちながら考えていく必要があるのではないかと。検定が主となり動いているが、苦手な子たちも含めて本当の基礎学力を付けるためには検定よりも阿智村の中で最低限つけてもらいたい基礎学力を身に付ける。例えば阿智村検定を作っていくことも有効だと思う。阿智村には専科の先生も揃っているので進めていくのも良いと考えるがどうか。

(佐々木 学校教育専門主事)

専科制については文科省も配置することになっており、専科教員を各都道府県に割り振るわけですが、阿智村の小学校には県から話はないということです。国でどのくらい予算が付くかによる。検定に関してはとても大事なところで、英語については単語力が課題と感じる。今、実はそれを検定的に作ろうとしているが、とてつもない労力がある。また、それをいつ、どこの授業でするのが課題となる。中学校は来年度、朝ドリルの時間が無くなるかもしれないということで、授業の最初の5分を基礎にあてるよう考えている。縄跳び検定みたいに級を作って段階的にクリアして学力を上げていくのを構想しているが、作成するところと実施するところで難しさを感じる。算数や漢字についても大切な手段なので誰が作るのかも含めて検討していきたい。

(原 彰彦委員)

作成は一人では難しい。最初は未熟な物でも良いので繰り返していくうちに充実してできていけばいいと思うのでぜひやってほしい。

(原 勝人委員)

中学校での検定は漢字検定や数学検定、英語検定があるが、子どもたちが意欲的に取り組める検定のあり方を考えてほしい。公立学校で公文を取り入れている学校を見学に行った際、1セット300万円かけて教材が使えており先の話が代用できるかもしれない。また、進路によってきめ細かに担当職員を雇用して取り組

んでいた。検定を評定化する場合に参考になるのではないか。1年間放課後子供教室を実施する中、社会教育雑誌を読む中で社会教育の立場でも地域・学校・共同本部という制度があり、学校側から見るとコミュニティースクール、学校運営協議会と対になるものだが、その両者が上手くかみ合って地域支援がうまくいくとあった。阿智村の社会教育はよい生活のために研鑽を積むというシステムになっており学校との共同という面では弱く感じた。両者が時間をかけて取り組んでいかないと成果があがらない。連携ということ、チャレンジゆうでは夏休みのデイ・ケア等をできるところでやっていきたい。そういうところを検討していくと良いのではないか。

(子育て支援室長)

行政だけで進められる事業ではなく地域の力も必要で、阿智村の場合6校区あり、地域の関わり方、子どもへの関わり方がそれぞれで違う。揃えなくてもいいが、それぞれの地域らしさ、学校らしさが出せればいいので模索していきたい。

(原 彰彦委員)

私も運営委員を務める中でどういう組織をつくっていくのか提案させてもらった。連携を考えた時に一気に進めていくのではなく、できることからじっくり進めていくと良いのではないか。村でやっている企画が公民館やチャレンジでやっている企画にもあるため、協力することでやる側の負担も少なくなる。子どもたちに有効に組織が動いていくと良い。

(熊谷 歩委員)

寄付金の運用計画について、中学入学時に鞆購入に使われているが毎年どれくらいずつ減っていったらいいか。また、どれくらい続くのか。

(教育次長)

- ・鞆1つが8,420円で今年51個購入しており合計支出が50万円くらいです。残金は89,000,000円で、後藤さんの御意向もあり理解を得る中で今後も購入していきたい。

(2) その他

なし

5 報告・連絡事項

(1) 各係より

- ① 入学資金貸与者の決定について（総務係）
- ② 教育委員会関係3月補正予算について（総務係）

(原 勝人委員)

第一小の電気代が突出しているが何かあったのか。

(教育次長)

コロナ対策として換気を良くするためエアコンの稼働が増えたと考えられる。

(原 彰人委員)

照明代は公民館なのか学校なのか。（4月の定例教育委員会で回答）

③ 令和3年度末人事異動について（学校教育係）

④ 令和3年度放課後学習教室・若駒アカデミー報告（学校教育係）

（原 彰人委員）

保護者から普段の授業について厳しい意見が出ているが、若駒アカデミーも中学校の先生方も良い形で交流をして指導力も充実してくると良い。

（教育長）

現在、原専門主事が授業参観を計画している。お互いの授業を見合う時間をつくって交流していきたい。

⑤ 令和3年度英語検定結果報告（学校教育係）

（原 勝人委員）

英検は継続して取り組まれた成果として3年生の3級以上の合格率が上がっており、引き続き継続してほしい。海外交流については通年で行っていくことは良いと思う。また、通年すると経験のないクラスが出てくるので希望しないクラスも経験していけると良い。現地交流に発展していけると良い。

（教育長）

コロナの影響で海外研修が3年間できていない中、リアルタイムに外国と日本の子どもたちが交流する場としてとても良い試みだと思っている。阿智中3年生の英検3級合格率が40%となり関係者に感謝している。以前はただ募集をかけるだけで対策講座も実施せずに受検しており、合格率も20%ほどと低かった。対策講座を実施することで合格率が上がっており効果がでている。引き続き取り組みをお願いしたい。

⑥ 令和3年度学校支援計画・服務規程及び心得について（学校教育係）

⑦ 保育園のオンライン配信について

(2) 4月定例教育委員会開催日

・4月14日（木）午後1時30分より

(3) その他

6 その他

7 閉会

（閉会 午後3時30分）

教育長・教育委員 署名／捺印